

令和7年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和7年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果97世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 7名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
I 教育・保育目標について	①教育・保育目標の具現化に向け乳幼児の実態を踏まえた(事業計画における「重点目標」)の設定となっていますか。	○豊かな自然に恵まれた地域性を生かした「全体的な計画」がしっかりと立てられていると思います。 ○目標・姿勢共に素晴らしいと思いました。 ○園や地域の特色を生かして、地域全体で考えられている。	A	当年度の「あおぞらこども園の施設方針、教育・保育目標と実践について」の表明と園長・クラス担当者が保育参加等で積極的に教育・保育目標を踏まえた園児の活動を説明する機会を設けています。 園内研修等の機会を活用し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の理解と、子供達が生き生きとした生活と遊びの充実が図れるよう努めてまいります。
	②目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
	③目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		0%	
II 教育・保育に対する指導について	①日頃の活動は「指導計画」(「今月の保育の進め方」玄関掲示参照)を作成し実践しておりますが、子供達の実態に即した活動が見られていますか。	○工夫されている。 ○各年齢合わせた環境設定や遊びがされていても良いと思う。	A	各年齢に合わせた環境作りや、保育・教育展開については、園内研修をはじめ、有識者の方からの助言と指導をいただきながら、保育の専門性の向上に努めてきました。 遊びは自ら進んで楽しんでやる自発的なものです。子供が自ら考え、判断し活動する力を育てる主体性を大事にしております。
	②各年齢にあった環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮されていますか。		100%	
	③教材・教具が、子供達にとって使いやすいように扱われている様子がみられますか。		0%	
III 行事について	①園全体の行事の種類や実施回数は、参加しやすいように日程など配慮されていますか。(七夕夏祭り、運動会、発表会等)	○施設アンケート集計後に指導部会をひらき改善に向けた取り組みに努めており、保護者の思いや意見を大切にしていると感じました。 ○回数や種類はちょうどいいです。子どもも家族も楽しみにしています。 ○各家庭の事情もある中で、参加しやすいように計画実施されていると思う。	A	保育参加は、保護者の就労状況を配慮し、平日・土曜日両日の開催を計画して3年が経ちました。全ての方々の思いを反映することは困難ですが、年間行事予定表を年度当初早急に配布したことで、参加者が増加しております。 今年度は熊出没や気温上昇等があり、安全第一に考えた内容に変更することもありました。行事を経験して得られる達成感、充実感を常に考えてまいります。
	②行事のねらい(案内文書に掲載)を計画や実施に十分生かしていますか。		100%	
	③保護者の思いや意見をとりいれていますか。		0%	
IV クラス経営・保健安全指導・給食について	①基本的な生活習慣やマナー・ルールを身につけられるような指導が行われていますか。	○掲示物は「お知らせ」等、見やすく分かりやすく工夫されていると思いました。 ○避難訓練について説明をうかがいました。年間計画に基づき、しっかり実施されていると思います。 ○⑤についての努力を知れた。日々実際の活動が一番大切だと思います。 ○はしやすpoonなど、園でも指導してもらったことを家でもがんばろうとしています。これからもよろしくお願ひします。 ○様々な場面を想定した訓練が計画的に行われていると思います。 ○大きくなってからは自然とは身に付きにくい、基本的な生活習慣や順番などにルールを身につけられるよう、先生達の声かけや指導ができてきていると思う。食育もすばらしいです。 ▲「地域とのつながりが大切」と話されていました。普段から地域との連携を密にしていってほしいと思います。	A	園行事・配布物・回収する物等、保護者の方々へわかりやすく伝えるため、全クラス専用の「お知らせボード」を大きく設置して、工夫をしてきました。施設アンケートでも、年々見やすくなってきているとの声もいただきました。送迎時の保護者の方々の動線、視線に今後も配慮した掲示方法を継続してまいります。 危機管理については、社会情勢に合わせた熊出没時のマニュアル作成と対応訓練を取り入れました。今後も災害時等におけるマニュアルの見直しや訓練を実施し、情報の収集に努めてまいります。 5歳児は気象庁・警察官の方々からお話を聞き、命を守る大切さを学んでいます。今後もより地域とのつながりを持ち、園児・職員と一緒に訓練に望む姿勢を大切にしております。
	②同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図られていますか		100%	
	③家庭へのお知らせや掲示物は、時期、内容、分かりやすさ、見やすさ等適切ですか。(園だより、クラスからのお知らせ、保健衛生のお知らせ、掲示物等)		B	
	④園生活における、お子さんの健康管理(けがの対応、体調不良を訴えた際の対応も含め)は、適切ですか。		0%	
	⑤子供達や職員は、危機管理に関する訓練(避難訓練・交通安全指導・防犯訓練等)を計画に基づいて適切に実施していますか		C	
	⑥給食は、子供達が楽しむ工夫がされ、おいしく安心して食べる事ができていると感じますか。(保育参加での様子、給食展示、園だよりなどを通し、献立内容や給食便りを発行)		0%	
	⑦乳幼児の安全確保のため、家庭地域社会・関係機関等と連携を図っていると感じますか。		0%	

令和7年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和7年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果97世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 7名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
V 情報・施設・設備の状況について	①乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。(個人情報保護規定に沿って実施)	○子供達がわかりやすいように、イラストや文字で保管場所がわかる。	A	園生活の中で、排泄(トイレ)・着脱等で、カーテンとパーテーションの設置を行い、環境改善と子供の人権・プライバシーを大切にする保育を心がけてきました。また、職員による「人権擁護のためのセルフチェック」を定期的実施していくことで、子供を尊重することや子供の人権擁護についてあらためて意識を高め、自らの保育を振り返る機会を大切にしていまいます。
	②遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		100%	
		B		
		0%		
		C		
VI 家庭・地域社会との連携について	①お子さんの園での様子について、保育教諭と情報交換は行われていますか。(送迎時、連絡帳、個人面談、保育参加等)	○施設アンケートの結果より、地域の方々との交流や、小学生・高校生との交流は、子どもたちにとってよい経験になっていると感じました。 ○地域との交流はゴールのないことと思いますが、達成に向けて良く努力している。 ○連絡帳は先生方の負担にならない分量や記入の頻度で大丈夫です。 ○地域の方達や小中高生など様々な年代と関わることで、子ども達の視野も広がる。息子は、園生活時にとても喜んでいました。 ○②③についてA評価。コメントに「望みます。」の記載。	A	園目標でもある「豊かな自然と多くの人々とのかかわりの中で、生き生きと生活できる力の基礎を持つ子供」という指標を基に、今年度は地域行事と同年齢と一緒にスポーツを楽しめる企画へ参加することができました。 今後も内容を検討しながら、子供達の社会性が育まれる活動を検討し、園だよりやホームページ等で、取り組みを発信してまいります。
	②子供達の社会性を育てるため、地域の方々との交流(高齢者施設の訪問、仁井田交番等公共機関の見学、地域の方々との避難訓練、町内散歩等)を持つ機会がありますが、お子さんは喜んでいきますか。また、年齢的に経験が無い場合、これからは是非こうした経験の出来る機会を望まれますか。		100%	
	③小中学生・高校生(職場体験・インターシップ)との交流をお子さんは喜んでいましたか。又、年齢的に経験が無い場合、これからは是非こうした経験の出来る機会を望まれますか。		B	
	0%			
	C			
			0%	

【教育・保育目標について】 【教育・保育に対する指導について】 【行事について】 【クラス経営・保険安全指導・給食について】
 【情報・施設の設備の状況】 【家庭・地域社会との連携について】 全ての項目において、昨年度を維持、上回る評価をいただいたことをありがたく感じております。評価に満足することなく、いただいたご意見から職員間で協議をかさねて改めて自分達の実践の課題や取り組んでいかなければならない事の共有化と目標をたててまいりたいと考えます。
 特に昨年度からも実践している『就学に向けて、小学校との接続を意識した共通する生活的な取り組みや相手を意識した言葉の使い方』については、子供達に対してだけではなく、保育者である大人の私達も心がけ関わっていき事が重要であると考えますので、継続した取り組みに務めてまいります。
 これからも、保育の専門性を高めていけるよう日々の保育実践を振り返りながら、客観的視点に評価をいただく機会を持ってまいります。保護者の皆様、地域関係者の皆様方、ありがとうございました。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾